

NITAS ver.3.1について(ver.3.0からの追加点)

	NITAS ver. 3. 0	NITAS ver. 3. 1
道路経路探索	ネットワークにおける道路速度の指定 - 平均旅行速度やユーザ設定速度について全国一律のみならず全国10地域ブロック別、都市部・その他地域別に指定できるようになりました。そのため、地域特性や沿道状況による速度の違いを考慮することが可能となりました。 リンク別の道路速度の設定 - 同じ速度に設定したい連続する道路区間の両端の2つのリンクを選択することで、その間のすべてのリンクを選択状態にする機能を新たに実装しました。これにより同一速度に設定したい区間の速度を一括して設定・変更することが可能になりました。 ETC2.0プローブデータの入力 - 新たにETC2.0プローブデータ（様式2.4）のリンク速度を利用できる機能を実装しました。これにより、ETC2.0の道路走行速度から計算した所要時間を経路探索に使用することが可能になりました。	Ver. 3. 1で追加した機能 ユーザが指定したリンク列を経由する経路探索機能の実装 - 開始する道路リンクと終わりの道路リンクを選択し、その間の道路リンクが自動的に選択される機能を新たに実装しました。これにより、道路上において自動探索した経路と同様に、ユーザが指定した経路の交通サービス水準（LOS）指標を算出することが可能になりました。 年次別道路ネットワーク切り替え機能の実装 - 現況道路ネットワークデータについて、これまでのNITASに搭載されていた過去時点の道路ネットワークデータに切り替える機能を実装しました。
公共交通経路探索	NITAS独自の経路探索エンジン - 新たに実装した独自の公共交通経路探索エンジンにより、データ移送効率が高まり、経路探索に要する処理時間が短縮されました。 - 過去再現などのためにユーザによって削除できるリンク数について、ver. 2. 8で有する制限が、ver. 3. 0では無制限になりました。 - 新エンジンはライセンスフリーのため、NITASのニーズに合わせた様々な改修が容易になり、NITASの更なる進化が期待されます。 - 新エンジンはGTFS方式の入力データを基本とし、今後GTFSの普及が進むことで、データ更新が容易になることが期待されます。 - 一方、ver. 2. 8の経路探索結果とは特徴が異なり、ver. 2. 8の探索結果と完全に一致しないことに留意する必要があります。	